



明化の教育

10月号(第482号)
令和2年9月30日
文京区立明化小学校
校長 熊倉 勝

新設「明化スポーツフェスティバル」を通して

過程を工夫して、運動に親しむ気持ちをより強く

校長 熊倉 勝



ボッチャ、10m走、ダブルダッチ、カーレット、スナッグゴルフ、スポーツスタッキング、ラダーゲッター、ストラックアウト、スラックライン・エアトランポリン。この中で知っている種目、実際に行ったことがある種目はいくつあるでしょうか。これらは、10月31日に実施する「明化スポーツフェスティバル」で子供たちが体験できる種目です。

本校では、校舎改築工事に伴い、校庭の使用が制限されるため、当面、運動会は実施しないことにしました。これは、運動会当日までの練習場所の確保ができず、本校がこれまで大切にしてきた「過程を大切にする」運動会の活動及び指導ができないと考えたからです。その代替りの体育的行事として、明化スポーツフェスティバルを創設しました。創設のねらいは、子供たちが自らの健康についての関心を高め、将来にわたって豊かなスポーツライフを形成していくために必要な「運動に親しむ気持ち」を育てることです。

当初は、本校体育館と文京スポーツセンターを会場として、キンボールやボルダリングなども計画していましたが、コロナウイルス感染症予防のため、種目を精選して、会場は文京スポーツセンターのみで、時間も短縮して行うことにしました。

実施に当たっては、新設したねらいを実現するためには、当日にいろいろな種目を体験するだけにとどまるのではなく、これまでの運動会と同様に当日までの過程を工夫することが大切であると考えました。具体的に次のような活動を取り入れていきます。まず、子供たちは、先述した9種目のうちスラックライン・エアトランポリンを除いた8種目について、事前に体験学習を行います。その後、体育等の授業で活動を補ったり、休み時間に学年ごとに各種目に親しむ機会を作ったりします。さらに、ニュースポーツウィーク(仮)を設定し、全校で取り組めるように計画しています。また、土・日の「こどもひろば」にもご協力いただき、いくつかの種目に取り組む機会を作っていく予定です。

子供たちは、自分が興味をもち、やってみたいと思う種目を選び、練習していくことで、運動種目に慣れ、うまくなるコツをつかんでいきます。その成果を発揮する場を、明化スポーツフェスティバルとしたいのです。これまで取り組んできた成果を子供自身が実感できるようにすることで、運動に親しみ、すすんで運動に取り組もうとする気持ちをより強くもつことができるようになるでしょう。さらに、明化スポーツフェスティバルの体験から子供たちの興味関心が広がり日常への活動につながっていくことを期待しています。

